

令和3年7月19日（月）

令和3年度 第1回 京都府域渋滞対策協議会

■議題

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| (1) 京都府域渋滞対策協議会の経緯及び
主要渋滞箇所対策進捗状況 | 資料1 |
| (2) 新型コロナウイルス感染拡大による交通状況等の変化 | 資料2 |
| (3) 主要渋滞箇所の特定解除方針 | 資料3 |
| (4) 京都都市圏WGにおけるTDM施策の議論について | 資料4 |
| (5) 今後の進め方 | 資料5 |
| (6) その他 | |

■議事概要

- 議事（1）について、資料に基づき事務局から説明し、了承された。
- 議事（2）にて、新型コロナウイルスを踏まえた交通状況の変化に関し、事務局から交通量や各団体から提供頂いたデータ、各種統計データの分析結果を報告した。今後も交通状況への影響について注視し、状況把握に努めることを確認した。
- なお、以下の意見があった。
- ・平日の交通量は大きな変化がなくても、交通の質は変化しているのではないかと。その点について分析頂きたい。具体的には、渋滞している時間帯の変化や、商業地域や工業地域など局所的な渋滞状況の変化について分析されたい。
- 議事（3）について、4箇所の主要渋滞箇所（西大路九条、竹田久保町、大手筋、久御山森）の特定解除に向け、渋滞長調査やETC2.0プローブデータによる分析を実施するとともに、交通管理者・道路管理者および道路利用者へヒアリングを行い、特定解除の妥当性を検証することを説明し、了承された。なお、調査時期については新型コロナウイルスによる影響を考慮して決定することとした。
- 議事（4）にて、京都都市圏ワーキンググループにおいて、主要渋滞箇所の

ソフト施策（TDM 施策等）の議論を進めることを説明し、了承を得た。

なお、以下の意見があった。

- 下三栖交差点では路線バスの経路変更によって、自家用車からバス利用に転換されるかが重要。路線バスに転換してもらうために、特に広報関係でWGの構成員の協力が重要ではないか。
- 京都都市圏 WG については、役割・意義・目的を明確にし、ソフト対策（TDM 施策等）の議論を進めること。

○議事（5）、（6）について、資料に基づき事務局から説明し、了承された。

